

令和2年11月9日

本校関係者の皆様

## 令和2年度道徳授業地区公開講座報告

練馬区立大泉中学校  
教務部

令和2年度道徳授業地区公開講座について、今年度については新型コロナウイルス感染症対応のため、例年とは異なる形で以下の内容で実施いたしました。担当からご報告させていただきます。

### 1 今年度の道徳授業地区公開講座について

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の措置を行いました。

#### ①授業公開対象者の限定措置

本校関係者および近隣小学校6年生の保護者のみ対象とし、書面にて通知して実施した。

#### ②授業公開および協議会の制限措置

教室内への入室制限および授業・協議会への参加についてはなしとし、教職員のみで実施した。

### 2 参観者

8名（内訳 本校保護者 8名、保護者以外の関係者および近隣小学校保護者 0名）

### 3 協議会の内容について

参観者の方からいただいたご意見・ご質問も踏まえた上で主に2点の協議を実施しました。

#### 検討事項1

生徒が「郷土愛」を多面的・多角的に検討できるように、3年間同じ教材・展開で実施し、各学年で主発問、検討地域のみ変更する（1年生「学校周辺大泉地域」、2年生「練馬区」、3年生「大泉中学校」）ことで、郷土を再発見できる展開として提案されていた。3年間継続したことの効果および課題は何か。

- 前年度、前々年度の取組を「意外と覚えていた」という生徒も「意外と覚えていない」という生徒もみられた。覚えていた生徒も再度確認をしている様子もあり、昨年度の取り組みを想起させる意味でも同じ展開であることへの一定の効果はみられた。
- 郷土に対する捉えとして、3年生で自分たちの生活してきた大泉中学校の良さを再発見できるという授業設計は今後の進路指導を見据えた上でも効果があるといえる。
- ▲練馬区の視聴覚資料を用いた展開は、何回か繰り返すと間延びする傾向があることは否めない。テキスト資料と併用したり発問を変更したりするなど、前年度の学習をある程度想起させられる要素を残しつつ、飽きが来ない展開とするために、さらなる工夫が必要となる。

#### 検討事項2

生徒が「郷土愛」を見つめ、考えられるような教材にはどのようなものがあるだろうか。

- 生徒の認識として、「アニメの町」、「緑が多い」という要素が出てくるため、東京都や日本から外国への影響力をもっているコンテンツを練馬区が持っているという点を軸に郷土資料を考えていくことができるのではないかな。
- 生徒のコメントからは練馬区をただの居住地域としてしか感じておらず、郷土愛が育まれていない生徒も少なからずいることがわかっている。特に練馬区という郷土の魅力を捉え直す機会がないと、練馬区の良さを実感しない生徒も少なくないのではないかな。その点で、教材はできる限り、生徒の身近に感じる内容から起こしていくことが大切になるだろう。
- ▲アニメや緑は生徒にはわかりやすいが、生徒に内面化されるものとは捉えにくい。生徒自身が郷土に関して捉え、考え、愛着をもつことができるような行事、取り組みを大切にし、そうした体験活動や経験をもとにした道徳授業の提案が今後は必要となるのではないかな。

### 4 次年度以降について

平成29年度から道徳の教科化に関する研修を実施し、平成30年度から3カ年にわたり、郷土愛に関する道徳授業のあり方の実践研究を実施して参りました。今年度の協議内容も含めて、ここまでの取り組みを総括した上で、次年度以降の道徳授業および地区公開講座のあり方を検討して参ります。

## 1 主題名 先人への尊敬と感謝の念、そして郷土への愛着を深める

内容項目 C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度

## 2 教材名 「先人の思いに心を寄せて」(練馬区道徳資料集 pp. 87-94 より作成した修正版を使用／練馬区道徳映像教材集)

## 3 主題設定の理由

## ねらいとする道徳的価値および教材観

本校道徳の目標である「道徳授業地区公開講座を活用し、自己の生まれ住む地域との関わりや、自分の「生き方」を考えさせ、道徳的実践力を育成する」ことをねらい、内容項目を C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土愛と設定し、「郷土」について考えさせる授業を提案した。また、授業展開は、全学年全クラス（特別支援級含む）、同一教材を使用した上で、前半は発問『自分の住んでいる町(練馬)について思うこととその理由』を考えさせた上で、映像教材を視聴し、発問『他人に自分の故郷を批判されたとき、主人公はどのように思ったでしょうか』から自分の考えをワークシートに記入させ、主人公である「私」が故郷愛へ気づいていく過程を追体験させ、文字化して明示できるようにさせる。後半は主題に迫るための活動として「自分の住んでいる町の良さとその理由」について、学年ごとに考察対象を変えて(私たちの暮らす 1 年：大泉地区、2 年：練馬区、3 年：大泉中学校)生活班で話合わせ、1 枚の用紙にまとめる活動を設定した。

## 4 本時のねらい

地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。

## 5 本時の展開【詳細手順】

|              | 学習活動                                                                                                            | 指導上の留意点                                                                                               |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>(7 分)  | ○『この写真のものや場所があるのは、どこでしょう。』<br>スライドショーで写真を何枚か提示し確認する。<br>発問①『自分の住んでいる町(練馬)について思うこととその理由を考えてみよう。』(各自ワークシート 1 に記入) | ・身近な地域の特徴を表す写真を提示し、生徒に住む町への興味関心をもたせる。<br>・自分たちが住む町に対する思いとその理由を含め、記述させる。                               |
| 展開<br>(12 分) | ○「先人の思いに心を寄せて」の映像資料を観る(約 1 2 分)                                                                                 | ・DVD 視聴の前に読み物資料を配付する。                                                                                 |
| (4 分)        | 発問②『他人に自分の故郷を批判されたとき、主人公はどのように思ったでしょうか。』<br>(各自ワークシート 2 に記入)                                                    | ・「区画整理」された状況を整理し、先人の地域に対する思いや願いに気づかせる。<br>・自分自身では自覚のなかった故郷に対する愛着に気づき、思いが強くなっている事をつかませ、共有する。(道徳的価値の共有) |
| (14 分)       | 発問③『自分の住んでいる町(1 年生：大泉地域 2 年生：練馬区 3 年生：学校)の良さとその理由を考えてみよう。』→4 人班でブレインストーミングから KJ 法により 1 枚の用紙にまとめる。               | ・自分の住む町について、他者の考えに触れることで、様々な良さがあることに気づかせる。                                                            |
| (5 分)        | ○各自自由に席を移動し、各班の用紙を巡回して閲覧しながらその良さや理由について共有し、共感や理解を深める。                                                           | ・導入時の自分と今の自分の思いを比較させ、その差異や変化を捉えさせる。                                                                   |
| 終末<br>(13 分) | ○今日の授業で学んだことを、振り返りシートにまとめる。<br>・教師の説話を聞く。                                                                       | ・本時の感想を書き、振り返りをさせる。                                                                                   |

- 配布教材
- ・『先人の思いに心を寄せて』読み物資料

・ワークシート（発問内容を変更しなければ、書式等を変更した独自のものを使用しても可）
- 使用教具
- ・付箋／A3 用紙を 9 班分/シール

・タブレット（授業者が各自職員室から持参）

・大型ディスプレイ
- 詳細手順
- ※PowerPoint（写真資料・発問等含む）に沿って授業を進行。

|              | 学習活動と指導上の留意点等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>(7 分)  | <div>○『この写真のものや場所があるのは、どこでしょう。』 スライドショーで写真を何枚か提示し確認する。</div> <div>○ワークシート配布〈以後ワークシートに記入した内容は余裕があれば共有する時間を取っても良い〉</div> <div>発問『自分の住んでいる町(練馬)について思うこととその理由を考えてみよう。』<br/>(各自ワークシート 1 に記入)</div>                                                                                                                                                                                                                         |
| 展開<br>(12 分) | <div>○動画視聴前にプリント配付</div> <div>○「先人の思いに心を寄せて」の動画資料を視聴（約 1 2 分）</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| (4 分)        | <div>発問『他人に自分の故郷を批判されたとき、主人公はどのように思ったでしょうか。』<br/>(各自ワークシート 2 に記入)</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| (14 分)       | <div>発問『自分の住んでいる町（1 年生：大泉地域 2 年生：練馬区 3 年生：学校）の良さを考えてみよう。』</div> <div>【手順】</div> <div><div>①生活班を作る</div><div>②「付箋」「A3 用紙」配布</div><div>③『良さ』を出来るだけたくさん記入</div><div>※記入前に【自然】【生活環境】等の項目をあらかじめ提示しても良い。<div><div>・ 1 年生：大泉地域（自分の生活圏内程度の範囲程度 多少広がっても良い）</div><div>・ 2 年生：練馬区（全体）</div><div>・ 3 年生：学校（大泉中学校の誇れるもの、地域における存在意義や果たしている役割等）</div></div></div><div>④ 4 班ごとに模造紙にまとめる。<br/>※可能な限り、似た内容（項目）の付箋を分類し貼り付ける。</div></div> |
| (5 分)        | <div>⑤ 6 分間程度で全員同時に教室内を巡回。各班のまとめた模造紙を見て回らせる。<br/>共感できる部分にシールを貼らせる。その良さを共有し、共感や理解を深める。</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 終末<br>(13 分) | <div>○今日の授業で学んだことをワークシート〈考えてみよう〉にまとめる。</div> <div>・教師の説話を聞く。</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

〈まとめ方イメージ〉※自由にまとめて良い

〈A3 用紙〉

【自然】

〈付箋〉  
緑豊か

〈付箋〉  
2 つも川が  
流れている

【生活環境】

〈付箋〉  
静か

〈付箋〉  
交通の便が  
良い

【施設など】

〈付箋〉  
大きな公園  
がある

〈付箋〉  
映画館があ  
る

【産業】

〈付箋〉  
農業が盛ん

〈付箋〉  
アニメ産業

令和2年度 道徳授業地区公開講座

「先人の思いに心を寄せて」

(練馬区道徳資料集より)

次の写真の「場所」や「もの」  
の  
共通点は何でしょう？



正解は・・・

すべて練馬区！

7



23区内唯一の動物注意標識  
(大泉中央公園付近)



23区内 唯一の牧場  
「小泉牧場」



23区中 最大の  
「農地面積」

質問①  
『自分の住んでいる町  
〈全学年：練馬〉をどのよう  
に思いますか？』

ワークシート1に記入しよう。

9

動画視聴  
〈練馬区道徳映像資料〉

「先人の思いに心を寄せて」

10



1937 (昭和12) 年頃の豊玉



区画整理碑 (豊玉南1丁目・徳田公園)

質問②

『他人に自分の故郷を批判  
された時、主人公はどのよ  
うに感じたでしょう?』

ワークシート2に記入しよう。

13

質問③

『自分の住んでいる町・学校』  
1年生：大泉地域〈身近な地域〉  
2年生：練馬  
3年生：大泉中学校

の「良さ」や「理由」を考えよう。

手順は次のページ…

14

手順

①生活班を作る  
②「付せん」「A3用紙」「シール(1人3枚)」配布  
③「良さやその理由」を出来るだけ沢山記入

- 1年生：大泉地域〈自分の生活圏程度〉
- 2年生：練馬区
- 3年生：大泉中学校の誇れるもの  
〈大泉中の伝統・部活・行事・習慣など〉

④生活班ごとにA3用紙にまとめる

- 可能な限り似た内容のふせんを分類して貼る。

15

まとめ方イメージ

〈模造紙〉分類は自由です。

〈自然〉

〈ふせん〉  
〇〇〇…

〈ふせん〉  
〇〇〇…

〈生活環境〉

〈ふせん〉  
〇〇〇…

〈ふせん〉  
〇〇〇…

〈産業〉

〈ふせん〉  
〇〇〇…

〈ふせん〉  
〇〇〇…

〈施設など〉

〈ふせん〉  
〇〇〇…

〈ふせん〉  
〇〇〇…

16

手順

⑤5分間程度で各班の用紙を見て回り  
共感できるものを探してみよう！

・最も共感できた「ふせん」に各自で  
シールを貼ってみよう！

17

今日の授業で学んだことを踏まえ、

他者に自分の町・学校の  
1年生：大泉地域〈身近な地域〉  
2年生：練馬  
3年生：大泉中学校  
良さを紹介してみよう！

ワークシート〈考えてみよう〉に記入しよう！

18



## 先人の思いに心を寄せて

友人が私の自宅に遊びにくることになっていた。しかし、約束の時間はとうに過ぎている。

「すまん、すまん。道に迷ってしまったよ。」

「気にするなよ。ここは駅から遠いからね。」

「それだけじゃないんだよ。わかりにくいんだよね、この町。」  
少しムツとした。その訳を聞くと

「この町はどこも道が真っすぐ続いているよね。しかも家やマンションばかりで大した目印もない。一見すっきりしているようだけど、僕にはどこも同じに見えるんだよね。特徴がないというか何というか……。」

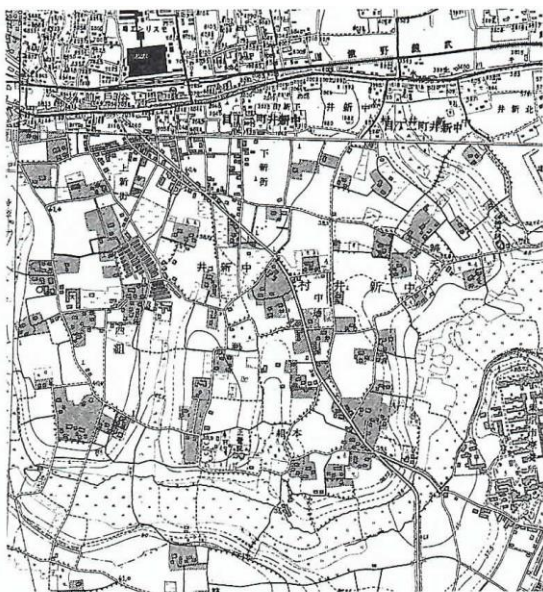
「た、たしかにそうだよな……。わかりにくいよな。」  
と言いながらも何かひっかかる。しかしそれが何なのか自分でもよくわからない。

友人が帰った後、おもむろに地元の地図を聞き、自分のイメージと照らし合わせてみた。たしかに、道は真っすぐ。直角に交わる交差点は、そこかしこに見られる。駅前の商店街、区役所、図書館、警察署に消防署など、区的主要施設が集中している一角を外れると典型的な住宅街となる。畑などもあるにはあるが……。これも特徴というほどではない。日本中どこにもあるような住宅街。緑に覆われているわけでもなく、目立った史跡があるわけでもない。生まれ育った地域のことなのに、何も知らない自分自身に気が付いた。

「果たして自分の故郷に誇るべきところはあるのだろうか……。いや、さすがに何かあるだろう。」

\*

今の地図からは分からなくても、昔の地図と比べれば何か見付かるかも



1929（昭和4）年頃の豊玉

しれない。幸い都内に古い地図を閲覧できる場所がある。私はそこへ足を運び、地元の古い地図を、明治時代にまでさかのぼって調べることができた。

川沿いに水田が広がっている。他は・・・なんだ、ほとんど畑だったのか。道は細くて曲がりくねっているものが多いな。これはきつとあぜ道だな。家もほとんどなくて、見渡す限りの農地、そして原っぱってどこだな。要するに、おれの生まれた町というのは、ごくごく平凡な農村だったというわけだ。それが近年、やはりどこにでもあるような普通の宅地に変わっていったというわけか。これはますます特徴のない町って感じがしてきたな・・・。

予想通りのような、少しがっかりしたような気持ちになった。もうやめようと思いつつも、とりあえず大正、昭和の地図も目を通していった。

「おれはいったい何をやっているんだろうか。」

そうつぶやいたとき・・・

「これは・・・？」

驚いた。昭和十二年の地図では道路の様子が劇的に変化していたのだ。その地図には、数年前の地図にはなかった広く真っすぐな道が突然何本も出現し、直角に交差していた。もちろん田畑はあるのだが、新たにできた道路によってきれいな区画にされている。

だが、それ以上に私を驚かせたのは、初めて見るはずの七〇年以上前のこの地図にどことなく見覚えがあったことだ。そう、現在の地図と、うり二つではないか。

「なぜ現在の区画が七〇年以上も前にできあがっているんだ。」

明治時代の地図と比べても住宅の数にはほとんど変化はない。ましてや、練馬が板橋から独立する前なので、主要施設が造られたわけでもない。それどころか、真っすぐな道を通すことで農村の命たる田や畑が削られてしまっている。別の大きな通りなどは、民家を真っ二つに分断しているではないか。そこまでして整備した大通りは、町の境目でぶつくりと切れてしまい、その先は田畑のまま。つまり道としての機能も不十分だ。



1937（昭和12）年頃の豊玉



「いったい何のためにこんなことを・・・」

全く必要性が感じられないこのような開発を誰が望んだのだろうか。当時は、日本が戦争へ向けてひた走っていたということもあり、政府が強引に変えてしまったのだろう。これだけ大きな町の改造をするには大きな力が働いているに違いない。なんだかがっかりした。いや、おしろ悔しい気持ちの方が強かった。

「本当に何もいいのか・・・。いや、何かあるはずだ。」

私の思いは、日増しに強くなっていった。

\*

次の休みの日、子供といつものように近所の公園に遊びに行った時のことだ。

今まで気にも留めていなかった石碑に、ふと目がいった。「区画整理」と刻まれている。裏にはなにやら文字が並んでいる。「豊玉」・・・町の名前も確認できた。碑が造られたのは「昭和十六年」・・・町が劇的に変化したことを示すあの地図の時期に近い。しかし、読み取れたのはそれくらいで、他につづられている文章の内容がよくわからない。

「この碑に興味がおりかな。」

突然声がした先に、老人がたたずんでいる。少し戸惑いながらも、

「実は、この地域のことについて少し調べていたのです。このあたりはまっすぐな道が多く、区画も整っているでしょう。昔の地図を調べてみると、この道路区画が七〇年以上も前にできていたことが分かったのです。『区画整理』という碑に刻まれた文字と、建てられた時期から何か関係があるような気がして見ていたのですが、何を書いてあるのやらさっぱりで。」

すると老人は静かに微笑んで

「この日は私の父が建てたものなのですよ。」

「えっ？」

その老人が碑の内容にまつわる話をしてくれた。

\*



区画整理碑（豊玉南1丁目・徳田公園）

昔、中新井村（現豊玉）は田や畑が広がっていてね、自然の多い本当に美しい風景の農村だったんですよ。でも、関東大震災（一九二三年）が起こった後、都心の方から現在の練馬のあたりに移り住む人が増えて、住宅も次々と建てられたみたいですね。当時、このあたりの道は、細くて複雑に入り組んだあぜ道が多かったのです。何も考えずに田畑を埋め、狭くて曲がりくねった道に沿って住宅を建てていくとどうなりますか。見通しや日当たりが悪くなるのはもちろん、町の治安に影響してしまうかもしれないでしょう。「このままでいいのか。」と、私の父はずっと考えていたそうです。

「今こそ我々は、自分の土地を差し出してでも村全体の将来のために区画整理をするべきだ。」と村人を説得して回ったようです。すると、最初は嫌がっていた地主たちも次第に「よし、やろう。」と協力し始めたのです。通じたのですね、自分たちのためだけじゃない。みんなのため、地域のため、そして子のため孫のためにするんだっていう父の思いが。なかなかできることではない。そう思いませんか。自分の財産や労力を無償で差し出すのですから。

実際の工事はとても苦勞したそうです。お金も、今のような重機なども当然ありません。自分たちの手作業で村をつくり変えるのですから、当然ですね。仲間同士でのいさかきもあったし、資金が足りなくて途方に暮れたこともあったそうです。でも、やり遂げたんですね。故郷に対する強い思いがあったのでしょう。わたしも父やその仲間が、農作業の合間をぬって、汗だくになって作業をしている姿を見たことがあります。ある時、

「父ちゃん、何でそんなに頑張ってるの、何の得があるの。」

と聞いてみたこともありましたが、父はただ笑っているだけでした。でも、今のこの町を見ているとその理由がよく分かる気がします。父とこの町は、私の誇りなのです。

\*

老人は、実際にはっきりと、堂々とした口調で私に語りかけ、帰って行った。何だかすがすがしい気持ちができる。ふといつもの町・・・真っすぐに道をを見ると、今までとは見え方が違っていった。美しい町だ。この町に生まれ育ったことを初めて誇らしく思うようになった。

# 先人の思いに心を寄せて

組 番

学習日 /

名 前

1 自分の住んでいる町について思うことと、その理由を書き出してみよう。

思い …

その理由…

2 他人に自分の故郷を批判されたとき、主人公はどのように思ったでしょうか。

思い …

その理由…



〈考えてみよう〉

今日の授業で学んだことを踏まえ、他者に自分の住む町（1・2年生）・大泉中学校（3年生）の良さを紹介してみよう。